



はじめに

診断士受験生向けブログ「中小企業診断士試験一発合格道場」は、2010年の道場開きから私たちの代で14年になります。ブログでは、診断士試験の勉強方法や診断士関連の情報について、ほぼ毎日、発信し続けています。また、先代からのノウハウを引き継ぎ、ブログの更新以外にも多面的に診断士受験生を支援できるよう、日々、活動しています。



中小企業診断士試験 一発合格道場
<https://rnc-oden.com/blog/>



第1章

全体像をつかめ!
 事例IVの概要

今回の特集では、私たちが今までに培ってきた一発合格道場流の合格メソッドを生かして、受験生が苦手にしがちな2次試験の事例IVの対策についてお伝えします。

特集の最初にあたって、事例IVの概要について紹介します。事例IV突破に向け、科目の全体像をつかんでおきましょう。

1 それは試験の最後に立ちはだかる難敵

事例IVは「財務・会計を中心とした経営の戦略及び管理に関する事例」です。事例I～Ⅲが文章記述式の問題がメインであるのに対し、事例IVは財務・会計に関する計算問題が中心です。必要とされる知識や能力も、ほかの3つの事例とは異なる特徴的な科目です。

1次試験の「財務・会計」と通ずるところもありますが、難易度は事例IVのほうが段違いに高くなっています。

また、事例IVは2次筆記試験当日の最後の時間帯に行われる科目です。80分×事例3本を終え、心身ともに疲労困憊した状態で臨まなければなりません。

図表 過去5年間の事例IVの出題テーマ

	過去5年間の出題実績	難易度(※)
経営分析 (B/S, P/L)	5回	★
損益分岐点分析(CVP) ※セールスミックス含む	5回	★★
意思決定会計 ※主にNPV	5回	★★★
記述問題	R5: OEM生産・新分野進出の財務的メリット R4: 海外向け事業の財務的リスク R3: 不採算事業廃止のメリット・デメリット R2: 投下資本営業利益率 R1: 連結子会社化のメリット・デメリット	★

※難易度は「事例IV(財務・会計)の全知識・全ノウハウ(同友館)を参考に、一発合格道場の現メンバーにて定義

与件文自体は、ほかの3つの事例より短い傾向にありますが、与えられる数値情報は複雑で量も多く、時間との闘いにもなります。

事例IVは、「財務・会計」や計算が苦手な受験生にとって、診断士試験の最後には立ちはだかる難敵といえるでしょう。

2 出題テーマはおおよそ限定されている

このように一筋縄ではいかない難敵の事例IVですが、出題されるテーマはおおよそ限定されています。

図表は、過去5年間の事例IVの出題テーマです。例年、大問は4つです。テーマは、経営分析・損益分岐点分析・意思決定会計+αの記述問題がお決まりのパターンです。さらに、過去にさかのぼっていけば、セグメント別会計やキャッシュフロー分析といった、ほかのテーマの出題実績もあります。

しかし、このお決まりのパターンの経営分析・損益分岐点分析・意思決定会計は、診断士試験に合格し、中小企業診断士になってからも実務上で頻出するテーマです。そのため、このお決まりのパターンは今後も出題が続く可能性の高い、重要なテーマといえるでしょう。

3 正誤がハッキリしていて対策しやすい

事例IVは一部の記述問題を除き、ほとんどが計算を要する問題です。「計算問題が中心」ということは、「正誤がハッキリしていて対策しやすい」ということでもあります。事例IVの難易度は決して低くはありませんが、頻出テーマの要点・解き方を押さえて練習を重ねていけば、合格点を取することは十分に可能です。

「財務・会計」や計算が苦手な方も、あきらめずに日々の練習を重ねていきましょう。苦手なテーマが練習の1周目で理解できなくても、周回を繰り返す中で着実に理解できるようになっていきます。わからないながらも練習を繰り返す中で理解に至るケースも多いのが、正誤がハッキリしている事例IVならではの特徴です。

以降の章では、事例IV突破のためのアプローチとして、目標得点別のタイムマネジメントの手法や、確実に解くべき経営分析と記述問題の解法のポイント、周囲に差をつけるための難問CVPとNPVへの向き合い方について紹介した後、全体のまとめとして、事例IVならではの効果的学習法について解説していきます。